

# 平成30年7月豪雨災害から一年

## 私たちは忘れない

### 市長あいさつ

昨年の豪雨災害により、本市では災害関連死2名の方を含め6名の市民の尊い命が犠牲となりました。

お亡くなりになられた方々の御遺族の皆様には衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。

これまで、暮らしの再建に向け早急な復旧対策を進め、より安全で安心な災害に強いまちにいくため「竹原市復旧・復興プラン」を策定し、「#がんばろう竹原」を合言葉に、発災以来皆様からの心温まる御支援と御声援を大きな力とし、復旧・復興に向けた歩みを進めてまいりました。

私たちは、これからも被災された方々に寄り添いながら、被災前よりも更に住みよさが実感できる竹原市の実現に向け、全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

竹原市長 今榮 敏彦

### 平成30年7月豪雨 災害竹原市追悼式

平成30年7月豪雨災害の発生から一年となる7月6日に、追悼式を開催しました。犠牲者の御遺族をはじめ、関係者など約120人が参列し、犠牲となられた方々の御霊の前に哀悼の誠を奉げました。追悼式は黙とうから始まり、今榮市長が式辞を、大川議長が追悼の辞を述べ、最後に参列者が献花をしました。



### これまでの市の取組

#### 「危機管理課」を設置

市はこの度の災害を受け、組織改編を実施し、新たに「危機管理課」を設置しました。「危機管理課」では、災害の教訓を生かし、防災会議を通じた地域防災計画の修正を行うなど、様々な災害対応・対策に取り組んでいます。



▲竹原市防災会議

#### 市消防団の充実・強化

市消防団では、実践訓練の実施に加え、団員の安全時確保を図るため、「ヘッドライト」を新たに配備し、「救命胴衣」を増備しました。



出水期に備え  
6月に訓練を実施



幹部・初任者訓練

#### 民間企業との連携

災害発生時の物資の供給や避難場所の確保などに対応するため、市では被災以降「東洋コルク株式会社」、「生活協同組合ひろしま」、「株式会社ジュンテンドー」、「株式会社フジ」と協定を締結し、災害への備えを強化しています。



▲株式会社フジとの「災害時における支援協力に関する協定」調印式

#### 「竹原市復旧・復興プラン」の策定

昨年の11月に「平成30年7月豪雨災害竹原市復旧・復興プラン」を策定し、災害復旧作業を進めています。市民のみなさんには「災害復旧かわら版」（自治会回覧や市ホームページに掲載）を通じ、復旧状況をお伝えしています。



被災直後の市道高山線



復旧開通後の市道高山線